

## 当社三島工場で発電する電力の供給について

今夏7月～9月の3ヶ月間、当社三島工場（愛媛県四国中央市）で自家発電した電力の一部を、四国電力株式会社へ供給することを決定しましたのでお知らせします。

今回、これまでに推進してきた省エネルギー効果のほか、生産設備の定期修理時等 構内での電力需要が減少した際の余剰電力を使って供給いたします。

当社三島工場は、紙の原料であるパルプを製造する際に発生する黒液（木材チップから繊維を取出した残りの樹脂分）をはじめ、木屑・バーク（木の皮）などのバイオマス燃料や廃棄物由来燃料及び石炭を燃焼することで、自社で使用する電力の確保を行ってまいりました。

この度の東日本大震災による電力不足に対し、社内での省エネルギー・節電の取組みとあわせて、三島工場の自家発電設備をフル稼働させて発生する最大20,000キロワット程度の余剰電力を、少しでも役立てる方法がないか検討を進めた結果、四国電力株式会社に余剰電力を供給することとなりました。

今後も、電力の供給に関して、当社が協力できることを引き続き検討してまいります。

以 上